

最適打点つかみ レベルアップ

プロテニスコーチが技術指導

一関市テニス協会が主催する2018年度テニス教室は20日、同市秋荘の一関運動公園テニスコートで開かれた。ジュニ



間瀬さん（左）のアドバイスを参考にしながら練習に励む児童

アと一般がプロテニスコーチからトップレベルの技術を学び、さらなるレベルアップを図った。競技の楽しさを幅広い

年代に知ってもらおうと毎年実施し、ヨネックスなどが後援。今回は学生や一般ら約40人が参加し、日本体育協会公認テ

ニス教師の間瀬義和さん（テニスワークスKei）が指導した。間瀬さんは自分の最適な打点を把握すること

フットワークの重要性を説明。「より速く打点に入って打ち返すことで、ショットは安定する」とし、すぐ移動できるように打った直後にポジションを素早く戻すよう呼び掛けた。

参加者は年代別に分かれ、間瀬さんのアドバイスを参考に繰り返し練習。こつをつかむと前後左右に振られるボールも的確に打ち返していた。大島珠妃さん（猿沢小学校4年）は「フットワークの基礎が分かった。今度はずっとサーブがうまくなるように練習する」、水沢第一高硬式テ

ニス部の高橋岳人君（2年）は「ボールに対する姿勢が参考になった。きょう学んだことを今後の練習や試合に生かしたい」と話していた。